

水戸子どもの劇場25周年記念

あゆみ



水戸子どもの劇場

はじめに

運営委員長 桜井みどり

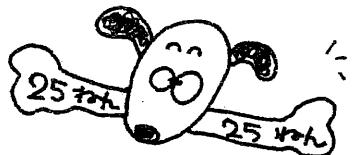
「子どもたちに、心豊かにたくましく育ってほしい」——水戸子どもの劇場は、1971年6月、当時テレビの普及により戸外で仲間と群れて遊ぶとの少なくなった子どもたちに不安を抱き憂うお母さん・青年・先生たちの熱い思いで始まりました。そして、この熱い思いは、「生の舞台の鑑賞」と「子どもたちの友情と自主性を育む自主活動」を二本の柱に、25年間受け継がれてきました。

水戸子どもの劇場・創立25周年記念行事は、「記念例会バレエ“シンデレラ”を皆の力で成功させましょう」「やりたい人がやりたいことを実現できる25周年にしましょう」というテーマのもとに繰り広げられました。

記念例会“シンデレラ”では、パンフレットづくりに会員一人一人が動きたくさん地域の方々のご支援を得、また皆の念願のバレエの美しい舞台に会員会員外を問わず深い感動が生まれました。そして、25周年お祝いの会、子育て講演会、子育てトーク“ホップ・ステップ・トーク”、地域公演や、遊びの会などいろいろな自主活動を、皆のやりたい気持ちを大切に身近なところでたくさん創り出しました。

世の中は、25年前の創立の頃より、はるかに忙しく殺伐としたものになっています。学校・職場の中でのいじめ、不登校児の増加、犯罪の凶悪化・低年齢化……。豊かな生活、幸せな生活を目指しているはずなのに離れていく現実。——ほんとうの豊かさって何でしょう？ 幸せって、何でしょう？ 学歴やお金ではなく、子どもたち一人一人が、それぞれの個性を認められ輝けること。その人その人が良さを認められ力を發揮できること。そして子育てを味わい、人生を楽しむこと。それが豊かさ、それが幸せ。そのことを胸にしっかりと刻んで、人と人との繋がりを大切にし、たくさんの感動といろいろな体験を通しておとなも子どもも育ち合える貴重な場である水戸子どもの劇場に、これからも力を出し合っていきたいと思います。

あなたにとっての劇場は、 どういうところですか？



おもてなし
おもてなし
おもてなし
おもてなし

(25周年記念誌つくり会アンケート)

親子で観劇し楽しんでいる	22	いろんなジャンルの作品をみんなで遊び観る	2
子供の体験の場	6	いろんなことをやり勉強になる場	2
親のストレス解消の場	5	老後まで話せる友人ができる	1
キャンプは楽しい	6	差別がない	1
いろんな人と出会える場	6	地域公演がよかった	1
いろんなことをつくり出す場	4	価値観・倫理観を伝える場	1
本音で話せる場	3	事前交流会で感動	1
エネルギーをもらっている	2	楽しい企画に親子で参加	1
思い出づくりができる場	2	キャンプは3泊4日	1
大人にとっても大事な場	2	サークルの人と楽しさを共有	1
ふれあいの場	2	情報が手にはいる	1
感動できる場	1	大人も子供も育ち合う場	1
いい例会が観られた	1	最初は子供だったのにいつのまにか青年になった	1
栄養ドリンク	1	時代が変化している、一步踏み出す時	1

自主活動は楽しいが時間を作るのが大変

ちょっと重くなってきた	1
思う作品はやらない	1
例会が土・日だとよい	1
参加できないことが多い	1
高学年になるといやがる	1
いい例会を観たい	1
赤字の話にうんざり	1
赤字の出ないように	1

以下、一部内容を抜粋しました。

いろいろなご意見ありがとうございました。

日常を忘れて、色々な世界に
いくことができる時間。
子どもも大きくなってくると
なかなかいつしょに何かを
楽しむことがなくなってくる
ので、とても大切な時間。

自主活動している時は、とても楽しい
けれど、その時間を作るのはすご~く
大変。家族の時間のはずだけど、休みが
母子家庭になってしまふ。

親子キャンプは、
はじめての体験
でしたが、とても
おもしろがつた。

自分では、絶対選ばない
ジャンルの物でも、意外に
子どもはケラケラ笑い
ながら見ているので
おどろいています。

会員になってまだ半年です。
映画も舞台も大好きです。
いつもサークル集会の終わりの
話題は、赤字のこと。
正直なところ、少々
ウンザリしています。

たくさんのお母さんの話や
考えを聞くことができ、とても
刺激になっています。

子育ての場。出会いの場。
わたしの生き方を変えるような
人との出会いもあった。

劇場に入つてもう6年になる。今までずいぶん沢山の例会を見て、感動したり、
心から楽しんだりしてきた。このごろなぜか物足りなさを感じるのはいつも
一緒に観ていた子どもたちが大きくなり、それぞれが忙しくなってきたためか
もうついて来なくなつたこともあるかもしれない。でも、自主活動の事前の
話し合いなどで異年齢のお母さん方と出会えることはとても楽しい。
時代はどんどんいろんな意味で変化してきている。一昔前の大入や子どもと
今はやはり考え方も違つてきているのなら、劇場も一步前に踏み出すときでは
ないかと思います。沢山の異年齢の親たちが話し合う場をもつて……。

例会を観ることで、親子、または
サークルの方々と同じ時間を持ち、
楽しさを共用している感じです。
あわただしい毎日の内で、物を見て
感じられる子どもの情緒の成長の
場の一つであると思っています。

はじめは息ぬきのつもりで参加した
劇場でしたが、それはすぐに体験の
場へと変わりました。今は、パワフル
なお母様たちに囲まれて、「元気」を
分けてもらっています。

感動出来る場！
子どもと遊べる場！
何かをみんなで作る場！
特別な所！

- ・本音で話せる場。
- ・子どものことを一生懸命考え
ている人が沢山いる所。
- ・老後にまで続く友人ができた。

皆で色々な事が
できるところ。楽しい
ところ。友達ができる
ところ。
いいところ！



「これからの中劇場」いのいたい放題 !!!

（青年）座談会

参加者

サウナ（青年） しんしん（高2） ジョージ（中3）
たかちん（青年） ファンタ（高1） えばっち（高3）
山きんぐ（青年） 石ちゃん（高1）
なおみ（青年）

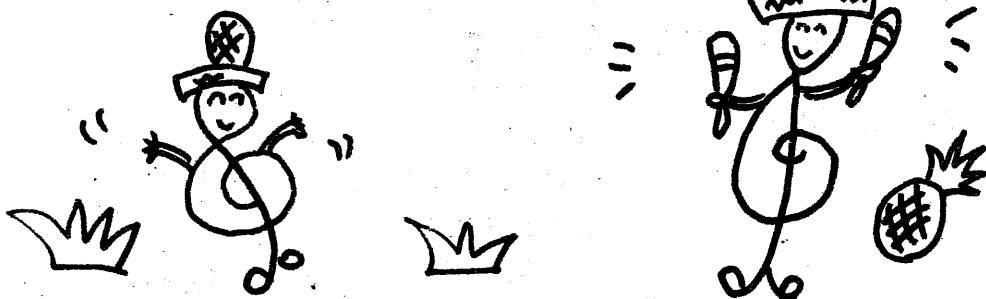
劇場のいいところ

- ・年齢を越えて、自由に話せるし遊べる。
- ・このままで楽しい。
- ・小さい子が好きだから遊べるのが楽しい。
- ・学校では、先輩後輩がはっきりしていて、部活では、先輩におじぎをしないとおこられたりした。
- ・やさしい人がいる。

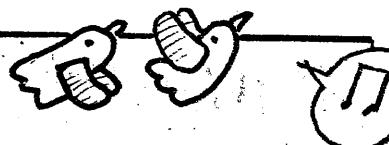
劇場の悪いところ

劇場時間。集まる時間がいつも守れない。

私じゃない。ぼくじゃない。—————
と延々と続きました。



例会については



- ・印象に残った作品は——

孫悟空、ニュースペーパー、ボロチョイサーカス、
きまぐれサーカス、フルーエン、黙れパントマイム

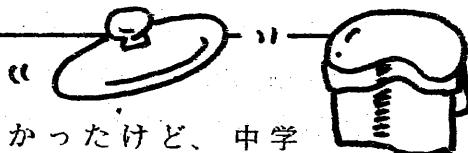
- ・例会はあまり印象に残ってない。

- ・おもしろくなかったのは——

バレエ（男1名）

- ・他には搬入搬出の手伝いで裏方がみられたのが良かった。

キャンプ



- ・小学生の時は友達がいなくてつまらなかつたけど、中学になってリーダーをやるようになって楽しくなってきた。
- ・ただキャンプが楽しみだった。キャンプっ子
その年のキャンプが終わったら次の年のキャンプを楽しみに1年待っていた。思い出に残っているキャンプはつくばのキャンプ場で台風の雨の中で生ゴミを運んでいて袋がやぶれてしまった事やきらいな玉ねぎが食べられなかつた事青年と遊ぶのが好きだった。
あまり小学生のめんどうをみないで、同年代の子同士で遊んではばかりいた。
- ・関東高校生交流会が昔あってその時会つた県外の友達と今でもつきあつてゐる。
- ・去年のリーダーの時はいやだつたけど。2年目になって小学生の姿をみるのが楽しかつた。
- ・キャンプに行った事で知り合いが増えて、例会の時声をかけてくれるのがうれしい。
- ・リーダーは大変だっだけど楽しかつた。
- ・以前いた劇場はキャンプがマンネリ化していた。ここは目的意識がしっかりしていて、自覚をもつてゐる人が多い。
- ・今年のキャンプのサウナの一言で感動した。涙。

"これからの劇場" いいたい 放題!!

ひと言お願いします。

T: 子どもの体験の場として、生涯学習センター等でいろいろなイベントを企画しているところは行政でもあるんだけれど、それに参加したとしても、人間的なつながりまではできない。だから、劇場で企画することは意義が大きいと思う。仲間が出来る、子どもの友達が出来る…子どもの劇場って、絶対必要!

I: 子どもについて純粋な話ができる。学区とか地域を越えてつながりが持てて、子どもに関してネットワークが出来ることは、劇場ならではのこと。そういうつながりは、大事だと思う。僕を言えば子どもの劇場だから、例会を開だあとで感想を言い合える場があると、うれしい。

S: 自主的な団体につきものの経済的な不安、当劇場でも例外ではないのです。公共機関から多額の援助があつたら…財政的危機がなければ、やりたいことを心から楽しんでやることができるのに。投資家がトンと大金を寄付してくれる夢を見ました…

いいたい放題座談会

参加者 森田え・桜井え
朝川え・山本え・横須賀え・太田え
岩間え・馬場え・中根え

— 来期から運営の方法が変わってきますので、その辺のところも何かありませんか —

A: サークルの役割が変わってきていると思います。このままいいのかっていうのがあって、その話をキチンとしなければいけないと思つたりします。

S: 特に、高学年になるとむずかしい。

低学年のうちは、子どもたちが群れていろんな活動が地域で出来ると思うんだけれど、ただ、今、その低学年のところでもサークルが成り立っていないんですよね。

M: 個人はありえない。どこかがまとめて、キチンと決めていくところが必要でしょ。

Y: 言いたい人しか集まりに出て来なかつたら、暴走する。サークルの中で、話し合ってこうしたら、ああしたらってまとまっていくけど、個人だつたら暴走しちゃう。

Y: 会費は、サークル会をしなくても、集まる。サークル会に集まることをめんどうさいと思っているから集まらない。例えば、生協は、個人配達になってすごく会員が伸びている。引き落としもしている。そういうことを劇場でやってみたらどうかと思う。そのあとどうするかは、すごく大変。でも合意性の善し悪しを考え直さないと、劇場は、立ち遅れるのではないかと、最近日々思います。

Y: 考えようによつては、個人である程度しようかして、あとつながっていく方がある意味で自然ですよね。つなげる作業は大変になるけど、まず劇場と自分の関係ができて、それから、序々に自分と同じような時間帯を持つ人と、サークルを作つていけたら、理想的かもしない。

つないでいければいいんだよねー

M: それができればいいんだけど孤立化していって、ただ観に行くっていう人たちが増えて、そこに語つてこれる仲間ができるんだろうか…

— サークルから離れて、個人になりたい、委員になりたくないっていうのは、正直なところあると思う。じゃ、誰がやっていくの —

Y: 会費を上げて、専門のプロデュースを雇つて…とかいろんな方向性はあると思う。根つこのところをしつかりおさえていれば、いろんな運営の方法もあると思うんだけど…

M: 劇場の良さって何だろう

本当に子どもの目線で、子どもの為に、出来るんだろうか。

Y: あっちがこっちがで分けないで、それぞれの良さを詰め合つて、いいたいことを吸収する場をつくつておけば、いいと思う。

N: 機関誌も大事になってくるよね。

例会のアンケートとかね…

ううう…

A: 例えばこの前、つくばが98名会員を増やしたんだけど、どうしてできたの?と聞いたら、うちはよぞよりもサークル会が開かれているっていう話。で、ここは機能していると思った。水戸はお母さんが仕事をはじめて忙しいのか、それとも関係を切っているのか、その辺の見極めをしないとダメなのがなあ。

M: 全部あると思う。勤めていなくても、勤めている人と同じくらい忙しい。だからできないのか。でもそれだけじゃなくて、近くで本音で話せなくなってきてることもある。そんな中で、サークルを作りなさい、くつつきなさいと言っても、どんどん背を向けるだけになってしまふ。

— サークルがむずかしいんだつたら、一人一人の会員が自立するってどうしたらいいの —

Y: うちのサークルは、サークルとしては、機能していないんですが、けつこう居心地がいい。必要な時に頼りになる。本当に困った時に頼りになる間柄になつていられる。

A: サークルの機能は、何かをやるのではなく、そこに行くと、その仲間がいて、自分の居場所だと思えるってことなんだよね。

今までのサークルは、地域でつくつたのだけれど、中身の問題でいえば、条件が合うというところでサークルを作つてもいいのではないかな…

— 子育てする時、本音で言えないのは、どうしたらいいのか —

M: 居場で出来る事は、ホップ・ステップ・トーク等、いろんな方法で、いろんな所でやっている。近所では話せない本音も、この会でならできる感じがする。

Y: サークルが活動していないから、そこにいられる。いつも一緒に行動していると、へんに集団化してしまって、どこまでまとまつていいのか、わからなくなつてしまふ。つかずはなれず…がいい

A: サークルって何かをしなければならない会でもない。そのサークルの呼吸・息があると思う。そのことを考えたほうがいいと思う。

M: わざがだけど、機能しているサークルもある。新しく入ってくる人の中には、サークル活動がいやで入らない人もいる。でも、みんな個人にしてしまつたら、こういう会は成り立っていくのだろうか。運営委員や、委員がいなければ、機能していかないのでは?

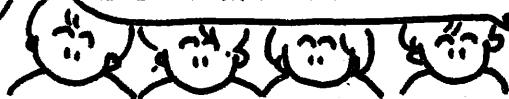
— サークルがいいというやり方をやってきた。そのやり方がきづくなってきた。
楽にしようと思えば楽な方向へは行ける。でも、今まで大事にしてきたものは
なんなんだろう… —

Y: 自主活動が続いているのは、それをやつしたことによって、知り合いが増えたという
利点をあげている人が多いでしょ。

M: 劇場の創り出す良さを知つていれば、関わっていきたいと思うだろうけれども
実際は、あれば参加したいけれど、中心になつてやることはたいへんだと思っている
人が多い。

Y: 子どもたちにいろいろな経験をして
いってほしいっていう根っここのところが
しっかりしていれば、劇場でもイベントや
さんでもいいと思う。

B: ただのイベントやさんになって
ほしくない。子どもをどう育てたい
かという本質は壊したくないよね



A: 私は、劇場に入って、子どもも育つだし私自身能力を引き出してもらつたと思うし、
老後も付き合える友達もできた。



O: 納豆がいいって、長谷川先生がおっしゃ
ってました。個々がはつきりしていて、でも
ねばり合っているのがいいって。



Y: 納豆のカップが劇場であつて、
その中でいろいろな個性のつぶが
ねばる。



虹色のネットワークがつくれればね

灰色じゃなくて…

Y: サークルが出来にくなら、近いからということじゃなく、いつもくずしてしまつ
て時間帯が合う人が会えるような所をつくるとか…
個人が参加しにくなら、
いろんな意味でお世話係が
必要になってくるかもしれません…

「お世話係でございます」
なんて、電話したりしてね…



I: 結局、ここにいる、みな同じような考え方をもつた人達が話し合つても、
しかたないんじやない。もつと、若いお母さんたちが子連れで
ギヤーギヤーしてゐる中で、言いたい事言ってくれないと、前に進まない
んじやないのー



そりゃそうだ…

いいたい放題でした…

ブロックごと サークル紹介です



ときわ・新莊

井上・さき

ブロック

小1から小4までの子供達の
いる4世帯サークルです。
みんなで楽しい時間を
たくさん共有したいと思って
います。

トシュークリーム☆

ディズニーランド♪

サークル会を開くと、ついに
話題がそれてしまって、
軌道修正しながら話し合いを
しています。
和気あいあいと楽しめます。

おくろみ

2家族5人の小さなサークル
です。
サークルができて一年足らず。
今は毎回例会を楽しみにして
います。

ゆきのこ

徒勢2~4名の大所帯です。
子供団体以外の活動にもかか
わっている人、赤ちゃんのいる
人、仕事を持っている人等、
色々な人々が集まっていますが
月一回のサークル会には皆参加
をつけてできるだけ参加してい
いるところがエライなどと自負
しております。

トシュークリーム日♪

幼稚園児2名の2家族の
サークルです。まだ人数も
少ないので、これからお友達
をどんどん誘って、仲間を
増やしていきたいと思って
います。

浜田・吉田 ブロック

3世帯6人
ハラソルから分かれ
たサークルです。
なかなか会えない
けれど仲良く
やっています。

2世帯4人
酒門小元クラスメー
の二家族4人のサー
クルです。小1から楽
しく遊んでいます。

バルーン
5世帯13人
小学校を中心のサー
クルです。なかなか会え
ないけど仲良く
やっています。

6世帯9人
仕事をしているので家
近くのレストランで行う
サークル集会で盛り上
がっています。(アルコールを含む)

シンボル
1世帯2人
仕事をしているので
プロフ集会にも出られない
けれど例会を
楽しめています。

あさがお
3世帯9人
小学校全年年そろって
9月よりスタートしたサー
クルです。楽しく活動
していきます。

アンダント
4世帯5人
大人アリサークルで
劇場をいつもで見て
いきたいと想えて
います。

ハラソル

サラタ

赤とんぼ

赤坂
浅和田
ブロック

大人6名
子供13名の
サークルです。
蟹の高い例会を
通い求めています。
コスモス

その子3人男の子
1人のグループです。
蟹、例会を主とする
人が楽しみです。
くぬぎ

パニコキン
10世帯
25名のサー
クルです。仲
高こ年令の場
がありますが仲
よく元気一杯のサー
クルです。

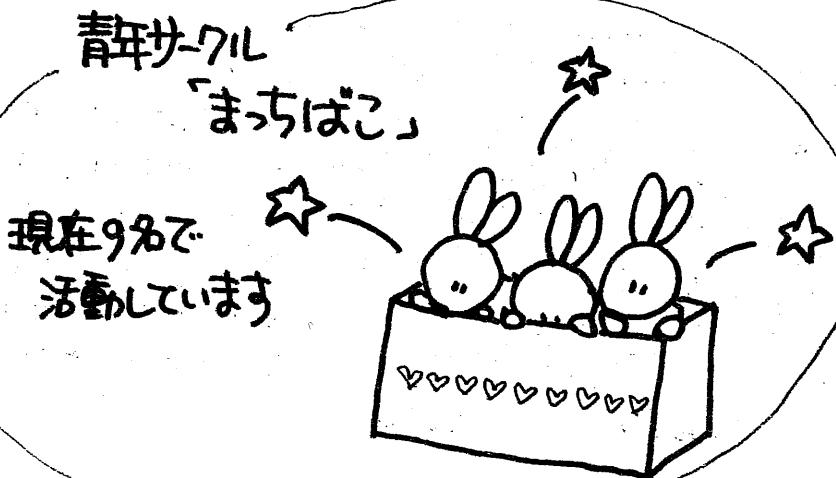
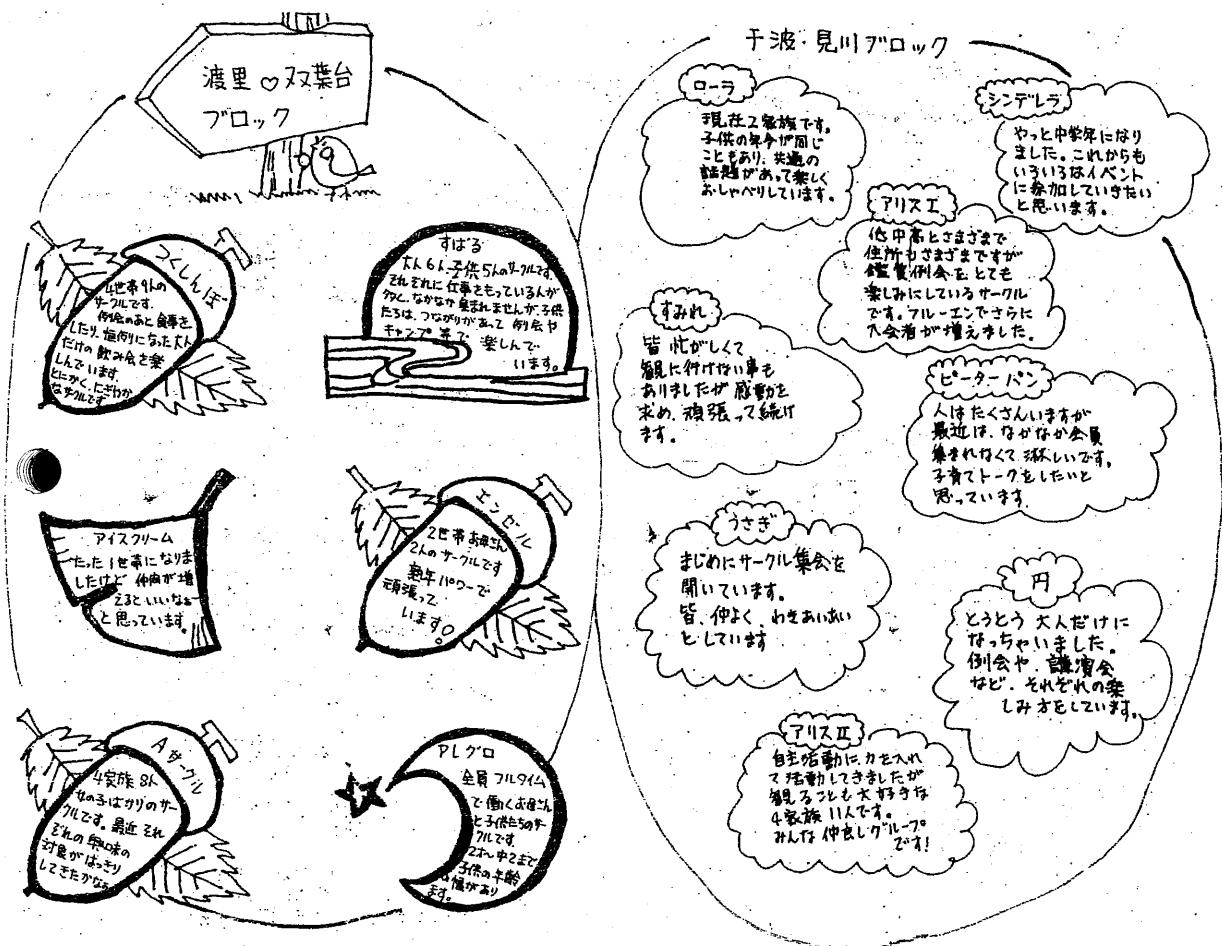
3世帯7名
の低年中
にハサクルです。
例会が楽しめ
ます。

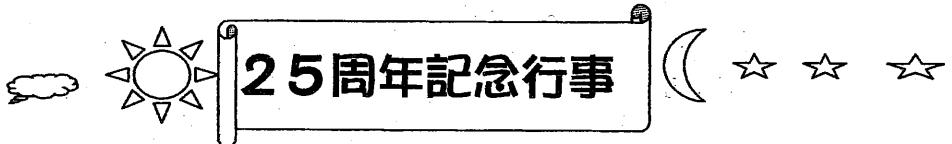
カーネーション
大人6名
まだ数ヶ月しか
たっていないせいか
ここだからよろしく
お届けします。

デズペラ
大人3人
子供5人の
サークルで、
子供ががんば
ているサークルです。
かわい木モック

5,6つ差
一子書女子3人
すつのサークル
です。入会してから
早く年...トムソーや
ウォーリー







25周年記念行事

25周年を記念して、何をやろうかと会で話し合いをもちました。記念例会として、バレエ「シンデレラ」を公演することは決定しており、それだけでいいかという意見と、他に記念行事をやろうという意見とに分かれました。

毎年大人も子どもも忙しくなってきている中で、自主活動は大変というイメージが広がっていて、縮小する傾向にありました。しかし、一方では子どもも大人もいろいろな体験をしたい……楽しみたいという人達もたくさんいて「やりたい人が、やりたい事を仲間と一緒に実現できる劇場に」という事で①記念行事・お祝いの会、②遊びの会「トムソーや友の会」、③地域公演、④シンポジウム【ホップ・ステップ・トーク】の4つの行事が提案され、実行委員15名が4つの行事に分かれて活動を始めました。

記念例会・お祝いの会

バレエ「シンデレラ」は会員・会員外を含め1050名で見る事ができました。

茨城県文化振興財団から50万円の助成があり、それは初めての経験で、画期的な事であり、会員の長年の念願であったバレエが25周年の記念の時に実現できた事は感動的な事でした。

お祝いの会は、バレエの例会当日に同じ県民文化センターの分館で開かれ、来賓として岡田市長を招き、他劇場の方々、劇場の青年、高校生などが参加しました。会員による出し物やおいしい食べ物もあり、大人から子どもまで心から25周年を祝い楽しむ事ができました。しかし、例会当日ということもあり、例会の当番やお手伝いの方が参加できなかったり、小さいお子さんのいる方は、一日中家を空ける事は大変と、出席者が少なかった事は残念でした。

遊びの会・トムソーヤ友の会

小学生の中學年の子どもをもつたお母さん達が、子ども達の集団を作ろうという事で、この会が始まりました。

内容は、実にさまざまでした。(スキーツアー・くり拾い・芋掘り等)
お母さんのつながりもその中でできましたし、子どもの集団は、その後子どもキャンプにつながりました。

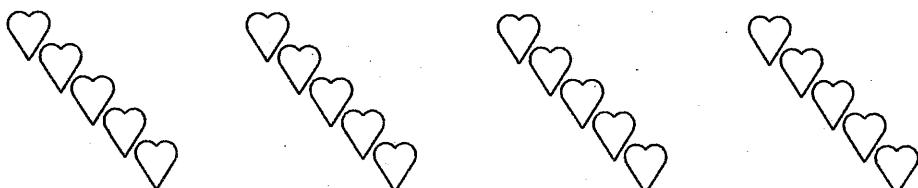
地域公演

3つの作品アステージ行う事ができました。「水戸のすみずみの地域の子ども達にみせたい！」と、水戸の中でも中心から離れた場所の公民館などで公演しました。又、一ヶ所は子供会と共に催ができ、体育館も借りる事ができました。この事で他団体とつながるきっかけができました。

10月に行ったコンサートは、大人だけの参加で子ども劇場始まって依頼の画期的なものでした。手作りケーキとコーヒーの香りの中じっくりと楽しみました。

シンポジウム・ホップステップトーク

県協5周年の記念行事に「鳥山敏子さんのワークショップ」を水戸で2回開催し、その参加をスタートに、今まで事務所でやっていた子育てトーク【ホップステップトーク】を、ブロックやサークルで開きました。8ヶ所で約120名程のお母さん達が集まり、子育ての悩み等を出し合い、先輩のお母さん達がアドバイスをしながら和気あいあいとした雰囲気のなかで行う事ができました。



25周年記念行事

	記念例会・お祝い会	遊びの会 トムソーヤ友の会	地域公演	シンポジウム ホップステップトーク
1995 9月				
10月		笠置へいこうかい (陶芸)		
11月				鳥山敏子 ワークショップ (2回)
12月		おもちつき		ホップステップトーク in 浜田 吉田
1996 1月		スキーツアー	木偶 寿公館 生涯学習センター	ホップステップトーク in 赤塚 河和田
2月			じまのねっちゃん 若宮体育館 2ステージ 石川公民館	ホップステップトーク in 常磐 新莊
3月	記念例会 パレエ「シンデレラ」 25周年お祝いの会			
4月		どろんこずぶぬれ		
5月				ホップステップトーク in 赤塚 河和田
6月				ホップステップトーク in ピーターパン パンプキン・渡里 双葉台 野田洋平先生講演会
7月				ホップステップトーク in 浜田 吉田
8月				
9月		栗ひろい		
10月			19日 やささんコンサート 生涯学習センター 3時～ 親子でどうぞ 6時半～ 大人向け	

こどもたちの澄んだ目と清純な心を守り育てていこう。1年8ヵ月もの長い間、着々と準備を重ねてきた「水戸こどもの劇場」がこのほど創立総会をひらき、正式に発足した。ハレンチ、残酷、根性などテレビにしろ映画にしろ雑誌にしろ、こどもをとりまく文化環境は渙して好ましいものではない。それに立ち向って“いのちに呼びかけるあたたかい文化をこどもたちの胸に”を合い言葉として発足した「こどもの劇場」。おかげさんや先生方の評判はなかなかいいようだ。



12日開かれた創立総会。こどもと文化を語る橋山勝子氏

人形劇やバレエ 親子で楽しむ「つどい」

ことわざの魔境の門守に仕がれ、四年ほど前福岡市で買ったのがはじまりだった。こどもたちは本当によい文化財を与えられているだろうか。いや、おとなが与えているのではないか。そんな反省の

上に立つて福岡門のわたりをまんざらに見ゆるやうな先生、大学生などがこゝもの

数年の間に全国各地に設立準備会
ができた。

のなかで、いかがされたことの日本文化を批判し、やがて拒否する。明るく伸び伸びと、創造性に

野絹子、川崎壱子、田谷倫之、鈴木敏子、神林昇

県下初めて水戸で発足

てる。そうした環境の中ではどうしてもバランスのとれない子が増える。

水戸ごどもの劇場復興
〔代表委員〕小原泰寿（水戸市子）
供会指導者連絡協議会長）金沢寅吉

十二日の創立総会では、児童
草には「すべて児童はよい遊びで
と文化財を用意され、悪い環境
を守られる」とあるが、遊び場所
ないこどもたちは、家中で遊ぶ
にかぎりつくしかない。そのた
レからはずぐれたこども番組は
少なくなり、ドタバタやアクシ
ン、非現実的なメロドラマが増
している。それを是としないのは

光學園の本阿弥愛子さん、前水戸市議の村井幸也さんらが呼びかけ人になり、水戸子ども劇場の設立準備会がつくれられた。そして同年十月八日、第二回の例会として人形劇団「ブーケ」の「菖蒲桃太郎」を上演、大歓好評を得た。以降、ことし五月の映画観賞会もよくめで五回の例会をひらぎ、毎回盛大になつてきている。

本県でも四十四年夏ごろからどともによい文化財を与える、といふ動きが高まり、こども会指導者水戸市連絡協議会員である小原泰寿さん、茨大教授の金沢直人さ

のなかで、いかがされたことの日本文化を批判し、やがて指摘する。明るく伸び伸びと、創造性に

本阿彌愛子（聖光學園幼稚園長）
川野辺精（詩人）

新聞にも取り上げられました。

1971年6月12日発足

運営のあゆみ

《水戸子どもの劇場誕生》

1970年代、テレビの普及によりそれまで外で仲間と一緒に体を使って遊んでいた子ども達に変化がおきました。それと、まわりからどんどん遊び場が消えていく！そんな中で、子ども達の健やかな幸せと成長を願う母親、教師、青年そして劇団の人達が力を合わせて子どもの劇場をつくりました。芸術的な香りの高いすぐれた演劇鑑賞（舞台劇、人形劇、音楽、その他）と、体験を通して（子どもキャンプ、親子キャンプ、フェスティバルなど）自主性を育てることを2本の柱にしています。そして子どもの豊かな感受性をのばし、美しい夢とたくましい創造力が得られるような動きをする中で、親も子も共に育ち合う会をめざしています。全国で1966年福岡に発足。水戸子どもの劇場は、1971年全国21番目の発足。

《青年ブロックの誕生》

4年度、関東甲信越連絡会の青年交流会への参加が青年部をつくるきっかけとなりました。青年自身が自分たちのことや社会のこと、劇場のことを考え、積極的に動いて行く姿は、未来を担う青年像として輝いています。また、子どもたちが集団の中、人とのつながりや生活体験をする時、青年の役割がひじょうに大きいことを実感します。まとわりついたり、ケンカしたり、教えてもらったり、母親と違う年齢の近さを感じます。そして、あんなお兄さん、お姉さんになりたいと目標にもなります。

社会人 6名、学生 6名、高校生 5名、計17名

新しいブロック体勢をしくなかで、地域づくりに力を入れ、ブロック集会が開かれるようになった。

《勝田分割、独立》

1986年5月、水戸子どもの劇場会員は888名、うち勝田地域会員は180名でした。地域に根ざした文化活動を考えた時、げたばきで舞台鑑賞できたらと勝田独立の動きがはじまりました。それをささえる水戸とともに頑張り、1987年8月に全体で1532名、うち勝田582名になり、勝田おやこ劇場の誕生となりました。

《年齢にあった舞台を》

子どもといつても小学校高学年になれば、いろいろと物の見方や考え方方が違ってきます。舞台も当然違ってきます。友達のこと、家族のこと、愛について等々。子どもの劇場でも16年度より年齢にあった舞台鑑賞をと、低学年作品、高学年作品と分けてみるようになりました。会場の雰囲気も、楽しくみられる低学年、ピーンとはりつめた会場で生きるって何と考えさせられる高学年、と充実したものになりました。

高学年会員が3分の1を占める中で、年齢にみあった内容の作品を観せていくこと、低・高に分けて1作品づつ組みました。

全国大会が日光で開かれ26名が参加しました。

《中学・高校生の活発化》

中学生新歓合宿や高校生合宿等が活発に行われ“まじめな話は学校ではできない”傷つくことを恐れてあたりさわりのない話。でもどこか満たされず心では本当の友を欲しがっていると、劇場の大切さを認識し母親と青年の二人三脚で生きる力をもてるよう見守っていくことが話されました。

《教育委員会より全作品の後援を得る》

20周年を機に市長さんとの話し合いにより実現しました。今まで会員さんが声をかけて一部のところにチラシを配布していたが、全学校幼稚園へ向けて組織的に配布が始まりました。

《新しい劇場のうぶ声》

- ・ 馬場さんの日（月1回）から発端になった、子育ての悩みを話し合う子育てトークが出張し、各ブロックにホップ・ステップ・トークとして花を開きました。
- ・ 小学生の仲間作りと遊びの達人育成を目指し、トムソーヤ友の会が活動しています。
- ・ “Listen-to & feel ちゃんときいてぼくらのきもち”の中でのこどもたちの声を聞く場ができています。
- ・ あにまるクラブ誕生・・・小さな子どもをかかえ、家の中に閉じこもりがちなお母さんたちと、子どもを遊ばせながら、子育ての話をする会。定期的に活動しています。

今私たち一人一人の価値観が問われています。次の世代にも劇場の大切さをしっかりと伝えていかなければと思います。

～専門部のあゆみ～

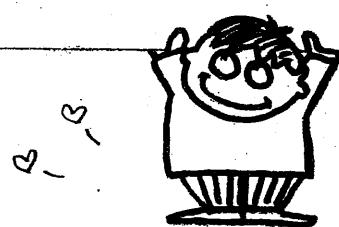
●○●○ 文化部20年からの歩み ●○●○

その後の5年間、文化部として確立する前は、何をどの様にしてやつたらよいのか、また会員の方々が文化部に何を期待しているのか、劇場にとってはどうなのか等を模索しながらの歩みだったように思います。

まず、文化部員として、自分自身興味のあるやりたいことを何種類か始め、手芸や例会との関わり方や講演会などと、回を重ねていく中で確立していくものが、現在も引き継がれています。(事務局にある劇場文庫の本の貸し出しは、今年度よりなくなりました。)

文化部の活動を通して、人ととの出会いも数え切れない程ありました。年々部員の数は減っていきましたが、たくさんの方々の協力や参加を得て、たくさんの出会いを経験できたことに深く感謝しています。

今後も、文化部を取り巻く人ととのつながりを大事にしながら、会員の方々の要望や期待にそういう活動を行っていきたいと思います。



《組織財政部のあゆみ》

21年度 事務局だけでは財政の見方や資料が片寄りがち、事務局以外の人で財政を考えようということで財政部ができました（部員3名）。会員1人ひとりに分かりやすく財政のことを伝えたいと、会費の使われ方、年齢別人数しらべ、前納率などを出しました。

22年度 会費前納100%をめざすキャンペーンを実施。会員を増やすところに力を結集していく、話をしていく大切さを感じました。

（部員 5名）

23年度 親しみやすい「組織財政部」をめざしました。そして、親しみながら財政活動をし、元気な人をたくさん見つけられるような動きをしたいと、多くの活動に取り組みました。「ザ・げきじょう」の発行、手作り絵本、ガレージセール、前納100%キャンペーン、アーモンドケーキづくり、などです。（部員 3名）

24年度 会員の年齢別構成比などの資料の検討をしました。財政活動としては、ガレージセールやにんじん村のバザーに出店、事務所での物品販売をしました。（部員 7名）

25年度 前半は会費納入方法について話し合い検討しました。人の繋がりを大事にしながら、いろいろな情報を伝えていくためにはどうするか、手数料の問題や事務処理など問題が多く、来期に持ち越しになりました。後半は、赤字補填のために、バザーを実施しました。（部員 7名）



例会企画パンフ掲載作品の情報収集から鑑賞マナーまでいろいろな角度から例会全般に関してその時々の顔ぶれの興味関心の赴くままに活動してきました。

このところ全国的にも例会の本質は何か？今後の方向性を探る中で例会の位置づけについての関心が高まり今後の例会部の活動の中心も鑑賞から創造活動まで拡張していくことでしょう。そんな時流の中ではより多くの情報収集とより専門化した活動が必要となり、多様な趣味嗜好と感性をもつ多くの会員の関わりが望されます。是非みなさんの多くの関わりでより良い例会を実現しましょう。

機関誌部

機関紙から機関誌へ

五年前のつどいは読みやすく、読んで楽しい紙面作りをモットーに会の動きが会員一人一人に届くことを考えつくられていました。

現在は、一会员も劇場の運営に主体的に関わる意識を持ってほしいと特集記事を組んだり、アンケートを取ったりしてきました。またサークルやブロック集会で、つどいを読みながら更に突っ込んだ議論ができるれば、機関誌として大きな役割を果たせるのではと、見る機関紙から読む機関誌へと変わってきました。

今後は、依頼原稿ではなく一会员の生の声を拾い集めるようにし、つどいの紙面で自由な議論ができるように努力していきたいと思います。

また、マンネリから脱却する意味でも新しい部員が入ってくれることを心から願います。

《 高学年部 》

発足は、子どもの劇場の会員には中学生、高校生、青年、大人がいます。が、中学生新歓のはがきが着くと退会してしまう等の現象があった頃、折りもおり20周年の文集委員会に集まつた高学年(小4以上)の子どもを持つたお母さん達、「このままでは折角育った子供達がこれからというときにみんな退会してしまう。是非、高学年を考える場を創りたい」との思いからできました。途中高学年部長のなり手がいなくて部がなかった年もありましたがそんな事をいつている暇はないと現在に至っています。**方針**は、高学年の体験の場を創り、支える事、子どもの環境を良くする事等でしょうか。毎年、その都度方針を決めて活動しています。**活動内容**は、ここ何年間は青年達が思いを込めて続けてきた子どもキャンプを青年の数が減ったからという理由で無くしてはならないとキャンプ実行委員会に参加して青年を作り上げています。今年はその青年から「これでは青年がいなくなってしまう」と中高生も実行委員会に入りなんと中学生、高校生の集まりが出来つつあります。今後の**課題**としては、キャンプを支える会の設立とキャンプ以外での子ども達の集まりの時間と場所、中学生的環境を頭に入れた活動の場を創りたいと思っています。

→ 運営委員会とは ... ←

運営委員会は、各ブロックからの代表の運営委員と、専門部の部長、三役（運営委員長、副運営委員長、事務局長）とで構成されています。毎月の会議では、水戸こどもの劇場の全体（例会、会員数、財政、自主活動、専門部の活動、県協のことなど）に関わることについて、話し合われます。

→ 委員会とは ... ←

委員会は、3サークルで1人の割合で選出された委員が担当サークルからの意見を持ち寄り、運営委員会の提案を検討し、決定し、話し合う場です。



↑ 平成9年
7月14日の委員会～水戸好文カレッジにて～

第1回例会チケット

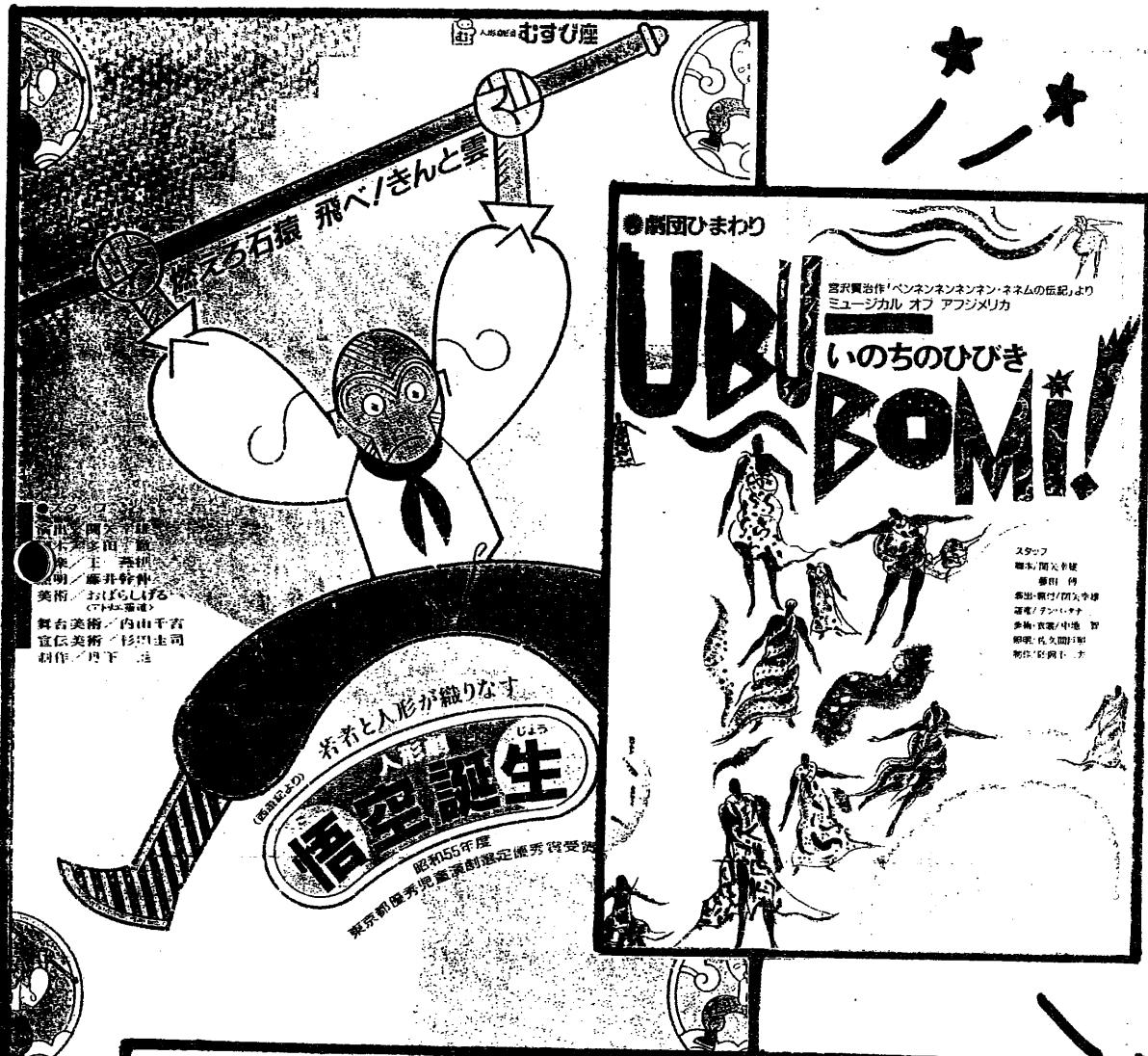


水戸こどもの劇場25周年記念例会
東京シティバレエ団
シンデレラ

1963年3月 日
開場 / 4:30PM
開演 / 5:00PM

茨城県民文化センター
主催 水戸こどもの劇場
TEL 029(226)5017
後援 水戸市教育委員会

東京シティバレエ団
シンデレラ
¥5,000 ¥5,500
<前売り> <当日>
午前10時から午後6時まで



第99回 水戸こどもの劇場例会（低高合同）

子どものための創作歌舞伎 力づくりの楽しさ 牛若丸

小池章太郎・柳川心平・作 香川直成・演出 岩井三郎・演出協力
川本和人・石井・山田正徳・西野由利子・吉永義之・吉村・佐藤・北島・伊藤・大曾根・文部省文化

場所 水戸市民会館
日時 4月5日(日)
開場 1:30 開演 2:00
後援 水戸市教育委員会
会員料 入会金 200円 月会費 800円
(4歳以上親子とも同額)
一般券 大人 3500円
子供 3000円 (当時は500円増)

チケット取扱場所 西武プレイガイド ジャスコ 水戸店
シルヤブックセンター 水戸こどもの劇場

第一部 力づくりの楽しさ
第二部 牛若丸
第一幕 伏見の里 雪の場
第二幕 五条橋 月の場
第三幕 鏡馬山 花の場



主催 水戸こどもの劇場 ☎ (26) 5017

こんな例会も
ありました：

こどもの劇場
会員数の動き

1400

1200

1000

会員数

800

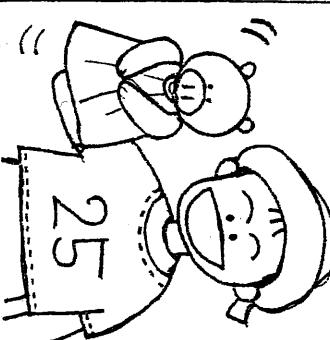
600

72年 74年 76年 78年 80年 81年 83年 85年 87年 89年 91年 93年 95年
 73年 75年 77年 79年 81年 82年 84年 86年 88年 90年 92年 94年

年度

25年のあゆみ

年度	年回数	例会内容	目主活動	年度	年回数	例会内容	目主活動
1969	1	昔話 桃太郎	劇团ブーケの人達が水戸で劇場を創るために説明会を開き、教職員組合の親子映画に取り組んでいた	17	70	THIS IS JAZZ (高)	地域公演・ミスター
1970	2	フレーメンの音楽隊	で飛ぶための説明会を開き、教職員組合の親子映画に取り組んでいた	71	71	青柳常夫ふれあいコンサート	シャドウのおもちゃ箱
1971	3	おはなむち	で劇場を創るために説明会を開き、教職員組合の親子映画に取り組んでいた	72	72	モモと時間どろぼう(合) (低)	中学生新歓合宿
	4	うねぼれうさぎ	先生方が参加。	73	73	ごんぎつね(合)	高校生合宿・バザー
	5	禁じられた遊び、鉄道具、		74	74	アンパンマンのぼうけん(低)	フェスティバル
1971	6	龍の子太郎、ナイガとリス		75	75	ボラーノ劇場(高)	子ども・親子キャンプ
	7	ピーターと狼、どちらとも		76	76	龍の子太郎(低)	新歓合宿・清音寺
	8	のうた		77	77	ガラスの家族(高)	地域公演・とび出せ人形
1972	9	ハイリップの石	映画「道」	78	78	冒險者たち、ガンバとその仲間(低)	子ども・親子キャンプ
	10	くるみ割人形	映画「道」	79	79	おれたちや便利屋(高)	子ども・キャンプ・常陸太田
	11	3匹のごぶた、イソップのうた	ピクニック・静公園	80	80	コントルは飛んでいく(合)	新歓合宿・うぐいすの里
1973	12	森は生きている	ピクニック・静公園	81	81	ハーフアンタジー(高)	シャドウのおもちゃ箱
	13	ことものためのコンサート	第2回こどもまつり	82	82	アーブル尾虫記(低)	中学生新歓合宿
1974	14	雪んこ獅子舞、他	映画「長くつ下のピッピ」	83	83	日本の笑い(高)	高校生合宿・バザー
	15	みんなでうたおう	歩く会・偕楽園まで	84	84	怪じゅうが町にやってきた(低)	フェスティバル
1975	16	スがほじくる	歩く会・偕楽園まで	85	85	おこりじぞう(高)	子ども・親子キャンプ
	17	オニの子アン	たこあげ大会	86	86	ウメコがふたり(高)	新歓合宿・清音寺
1976	18	こどものための舞台	たこあげ大会	87	87	手ぶくろを買いに	1,2,3!
	19	青い鳥	教育講演会・丸木政臣氏	88	88	カリレオ・ラブ・ソング(高)	地域公演・とび出せ人形
1977	20	笛ふきかなー	教育講演会・丸木政臣氏	89	89	ドウ・ワップ・アメリカン(高)	子ども・親子キャンプ
	21	いづみたくとうたおう	教育講演会・丸木政臣氏	90	90	・マジック水芸の世界(合)	子ども・親子キャンプ
	22	おしゃべりなたまごやき	教育講演会・丸木政臣氏	91	91	悟空誕生(低)	20周年記念フェスティバル
1978	23	青い鳥	教育講演会・丸木政臣氏	92	92	耳なし芳一(高)	「天までとぞけ虫」
	24	シンデレラ	教育講演会・丸木政臣氏	93	93	ハフの子タラー(合)	子ども・親子キャンプ
	25	毛食と王子	教育講演会・丸木政臣氏	94	94	ベっかんこおに(低)	子ども・親子キャンプ
	26	うりんこ姫とアマンジャク	教育講演会・丸木政臣氏	95	95	大どろぼうホック(低)	子ども・親子キャンプ
	27	バヤヤ王子	教育講演会・丸木政臣氏	96	96	サーカス物語(高)	子ども・親子キャンプ
1979	28	このゆびとまれコンサート	教育講演会・丸木政臣氏	97	97	大どろぼうホック(低)	子ども・親子キャンプ
	29	音楽隊	教育講演会・丸木政臣氏	98	98	悟空誕生(低)	子ども・親子キャンプ
1980	30	芹洋子ファーリーコンサー	教育講演会・丸木政臣氏	99	99	子どものための歌舞伎「牛若丸」(合)	子ども・親子キャンプ
	31	山廻のねこ	教育講演会・丸木政臣氏	100	100	東京マイムシアター(合)	中学生新歓
1981	32	おばけちゃん	教育講演会・丸木政臣氏	101	101	船乗りクブクアの冒険(合)	ふれあいフェスティバル
	33	石の心臓	教育講演会・丸木政臣氏	102	102	ちょっとと不思議な物語(高)	子ども・親子キャンプ
1982	34	宝のつるはし	教育講演会・丸木政臣氏	103	103	ラテンシリスマにのっちゃおう(低)	秋のハイキング
	35	走れ歌の超特急	教育講演会・丸木政臣氏	104	104	あっと、からくりおんずてー(低)	ごはんだホイ!
1983	36	せむしの小馬	教育講演会・丸木政臣氏	105	105	王さまとまほうつかいのチヨモチヨモ(低)	中学生新歓
	37	ピックとバイキンダ	教育講演会・丸木政臣氏	106	106	むかしあるときあるところ(合)	ゆめみちやり、お・じ・3
	38	歩き出した小さな木	教育講演会・丸木政臣氏	107	107	ハイキング	風の子・バザール
1984	39	ビッグとバイキンダ	教育講演会・丸木政臣氏	108	108	子ども・親子キャンプ	ハイキング
	40	歩き出した小さな木	教育講演会・丸木政臣氏	109	109	常田富士男&京フィル	子ども・親子キャンプ
1985	41	大工と鬼! じっさまのおん	教育講演会・丸木政臣氏	110	110	「星の街の音楽会」(合)	ごはんだホイ!
	42	ごんぎつね、ぶす	教育講演会・丸木政臣氏	111	111	翔べ、イカロスの翼(高)	中学生新歓
	43	青柳帯夫ふれあいコンサー	教育講演会・丸木政臣氏	112	112	輝け、緑の宇宙船(低)	ゆめみちやり、お・じ・3
1986	44	みどりの屋根の朝	教育講演会・丸木政臣氏	113	113	星の王子さま(低)	ハイキング
	45	猫は生きている	教育講演会・丸木政臣氏	114	114	ルドルフとイッパイアッテナ(合)	中高生新歓
	46	風から聞いた話	教育講演会・丸木政臣氏	115	115	黙れ! パントマイム(高)	フェスティバル
	47	知りたがりやのゾウさん	教育講演会・丸木政臣氏	116	116	ザ・ニュースペーパー(高)	子ども・親子キャンプ
	48	みんないっしょにコンサー	教育講演会・丸木政臣氏	117	117	長くつ下のピッピ(高)	子ども・親子キャンプ
1987	49	黄金の花が咲いたとき	教育講演会・丸木政臣氏	118	118	フランダース・リコード(高)	子ども・親子キャンプ
	50	モンゴルの白い馬	教育講演会・丸木政臣氏	119	119	B・Bモーラン&ビタシカ(低・中)	子ども・親子キャンプ
	51	うかれバイオリン	教育講演会・丸木政臣氏	120	120	かいぞくサケット(低)	中学生新歓
	52	上面鳥おばさん	教育講演会・丸木政臣氏	121	121	まぬけなリュウの話(中・高)	子ども・親子キャンプ
1988	53	アーサー大野ふれあいコンサー	教育講演会・丸木政臣氏	122	122	シンデレラ(合)	25周年記念事業
	54	おかあさんいっさい	教育講演会・丸木政臣氏	123	123	突然の陽ざし(中・高)	遊びの会・笠間へいこう
	55	火の島	教育講演会・丸木政臣氏	124	124	ニールスの不思議な旅(低・中)	かい、もちつき、スキーツアー、栗ひろい
1989	56	象のいない動物園	教育講演会・丸木政臣氏	125	125	ザ・バトルスペシャル	地域公演
	57	銀河鉄道の夜	教育講演会・丸木政臣氏			トランクとらすけ	木偶(でく)
	58	世界をまわるトランク劇場	教育講演会・丸木政臣氏				こまのおっちゃん
	59	ちびくろさんぽ	教育講演会・丸木政臣氏				やぎさんコンサート
1990	60	いたづらラッコのロッコ	教育講演会・丸木政臣氏				シンボジウム・ステップ・
	61	ザ・マジックペート	教育講演会・丸木政臣氏				鳥山敏子・ワード
	62	オコジョと青い目の人形	教育講演会・丸木政臣氏				ショット
1991	63	空を飛んだ鳩と銀色の松	教育講演会・丸木政臣氏				野田洋平先生講演会
	64	(高)					
1992	65	レモンのツイスト					
	66	宝のつるはし					
	67	くるみ割り人形					
	68	走れメロス					
	69	すてきな三人組					



25

《編集後記》

6月23日より始まった記念誌作りもいよいよ終わりになりました。
25周年誌にちなんで25ページに。
子育てを問い合わせられている今日この頃、劇場の良さを地域に伝えていく姿勢を、より一層大きくしていく事を新たに感じています。
25年を節目として新しい劇場として発展していく事を願っています。

記念誌つくろう会

(馬場 美智子・森田 多美子・袴塚 宏美・中根 加代)



発行日 平成9年10月19日

発行所 水戸こどもの劇場

住所 水戸市元山町2-3-54

電話 029-226-5017



1972年にバッヂが
つくられた時の
デザイン画です。